

仕様

|                |  |
|----------------|--|
| 型名             | VP-101N  |
| <b>● アナログ部</b> |  |
| 入力コネクター        | 4極4芯モジュラー端子×2 (スルー接続)<br>モジュラーコネクタピン配列接続切替スイッチ付き   |
| マイク入力          | φ3.5 ステレオ端子・プラグインパワー対応   |
| 入力レベル調整        | ボリューム (270度回転トリマ型) 送話側・受話側独立調整<br>スピーカー側: -50dBV~-10dBV (AGC SPK)<br>マイク側: -60dBV~-20dBV (AGC MIC) |
| A/Dコンバーター      | 8kHz / 24kHzサンプリング16Bit量子化   |
| モニター出力         | φ3.5 ステレオ端子  |
| <b>● 録音データ</b> |  |
| データ形式          | 4bit-ADPCM, Mu-LAW, A-LAW, 16bitリニアPCMから選択   |
| サンプリング周波数      | 8kHz, 24kHzから選択  |
| ファイル形式         | WAVフォーマット  |
| 録音動作           | 録音起動動作: 音声起動(VOX) / 外部起動 / コマンド起動(LAN経由CTI連携)  |
| 録音モード          | ステレオ, 受話+送話ミックスモノラル, 受話モノラル, 送話モノラルから選択  |
| 録音周波数特性        | 300Hz~3.4kHz +3dB / -6dB (8kHz サンプリング, 1kHz 基準)<br>300Hz~8kHz +3dB / -6dB (24kHz サンプリング, 1kHz 基準)  |
| バッファ保管時間       | 8 kHzサンプリング 4bit-ADPCM モノラル録音にて125時間以上<br>(本体内部メモリーに記録されたデータは、電源を切っても消えません。)                       |

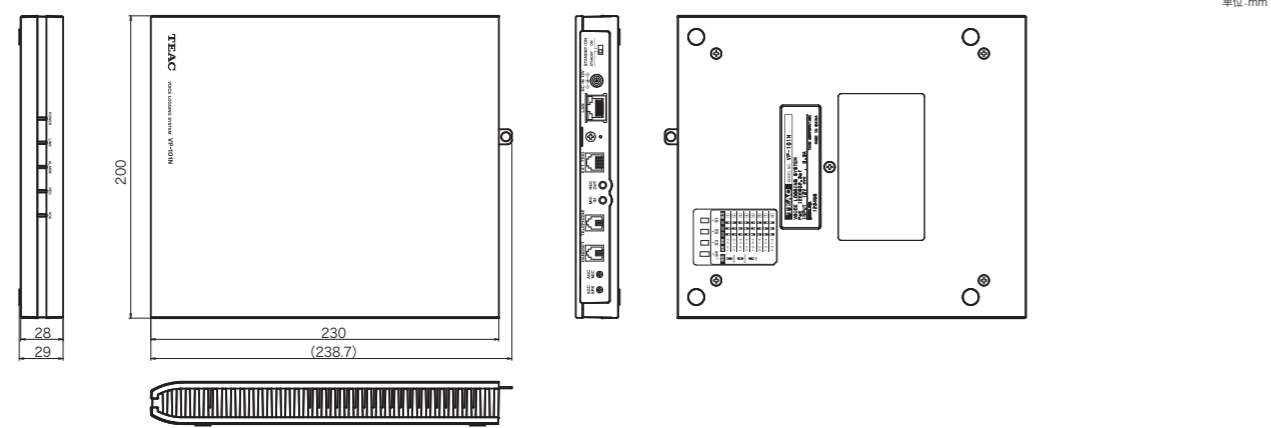
|               |   |
|---------------|---|
| <b>● 一般仕様</b> |   |
| 表示部(本体正面)     | LED表示: POWER・LINK・ALARM・REC・VOX                                       |
| 操作部(本体背面)     | STANDBY/ON スイッチ<br>初期化スイッチ  |
| 電源            | PoE (IEEE802.3af準拠) による給電<br>※オプションでACアダプター (出力電圧12V) による給電           |
| DC電源入力        | 12V, 1A EIAJ規格  |
| 付属ソフトウェア      | 通話再生用ソフト: VPプレーヤー<br>対応OS: Windows XP SP2以降, Windows Vista, Windows 7 |
| 外形寸法          | 200(W) × 230(D) × 28(H) mm (突起部、ゴム脚を除く)                               |
| 質量            | 約620g   |

|                              |    |
|------------------------------|----|
| <b>付属品</b>                   |    |
| ● 電話用モジュラーケーブル               | ×1 |
| ● CD-ROM (通話再生用ソフト: VPプレーヤー) | ×1 |
| ● 取扱説明書 (保証書付き)              | ×1 |

|  |  |
|--|--|
| <b>オプション</b>   |  |
| ● ACアダプター (PA-1210) (出力電圧12V)  |  |
| ● コールログサーバー/Webプレーヤーソフト [対応OS: Windows Server 2003/R2, Windows Server 2008, Windows 7 (Professional, Ultimate, Enterprise) いずれも32ビット版] |  |
| ※ 詳細は、下記営業部へお問い合わせください。  |  |

● ACアダプター (PA-1210) (出力電圧12V)  
※ 詳細ネットワークサーバー記録方式に必要な、コールログソフト/Webプレーヤーソフトに関しては、下記営業部へお問い合わせください。

外形寸法図



第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願い致します。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

**注意**  
 ※ 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。  
 ※ 水、湿気、湯気、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因となることがあります。  
 ※ 仕様および外観は製品改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。  
 ※ Windows, Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Windows Server 2003, および Windows Server 2008 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。  
 ※ その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

**ティアック株式会社** <http://www.teac.co.jp/>  
 インフォメーションシステム事業部 ボイスロギング営業課  
 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47 TEL 042-356-9162 FAX 042-356-9185  
 大阪営業所 〒564-0052 吹田市芝苅町 4-1 TEL 06-6378-7719 FAX 06-6385-8849  
 営業 2 係 ミタカビル 4 階  
 ● 技術的なお問い合わせ ボイスロギング営業課 TEL 042-356-9163 FAX 042-356-9185  
 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

<http://www.teac.co.jp/>

## 小規模コールセンター、個人事務所、SOHOなどの通話記録に最適な、ネットワーク対応テレホンレコーダー

● どの回線種別にも使えます ●

**アナログ** **INS** **IP**

- 通話録音システムは、様々な場所で利用されています。
- メーカー サポートセンター
  - 通信販売 コールセンター
  - ファイナンス関連 (銀行・証券会社・保険会社)
  - 交通機関 (航空会社・鉄道会社・バス会社)
  - 公共機関の緊急通話など (警察・消防・電力・ガス・水道)
  - 学校・教育機関・自治体



- 受話器を上げると作動する**自動録音システム**
- 送話、受話の**ステレオ録音**
- 外部マイク対応で**対面接客の録音**も可能
- **クリアな音**は会話録音に最適





# 個人事務所、小規模コールセンターから 複数支店の集中管理まで対応可能な ネットワーク対応テレホンレコーダー VP-101N

VP-101Nは、ハンドセットと電話機間に接続するテレホンレコーダーです。録音データは、**本体内部メモリーに記録する方式**と、**ネットワークを経由して管理サーバに記録する方式**\*1の、  
どちらかを選択することができます。

個人事務所や小規模コールセンターでは本体内部メモリーに記録し、録音データの再生はネットワークに接続したPCを使って、付属のプレーヤーソフト (VPプレーヤー) で行います。この場合、1台のPCで複数台のVP-101Nを検索・再生する事ができます。また、管理サーバを導入すると、複数支店にまたがった、各店舗の録音データをまとめて管理することも可能です。この場合VP-101Nは、録音データをネットワークを経由して管理サーバに保存します。管理者は、管理サーバ上からプレーヤーソフトを使って特定のデータを検索したり、再生することができます。

\*1：別売のコールロガーソフト、Webプレーヤーソフトを使用する必要があります。

## 特長

- 録音のための**特別な操作は不要**。オペレーターは録音している事を意識する必要がありません。
- **薄型デザインの省スペース設計**で、電話機の下に設置する事も可能です。
- イーサネットで、PC又は管理サーバと接続しますから、USBで接続する機器と異なり、**ケーブルの長さ制限や、コネクタ抜けによるトラブルから開放**されます。
- 本製品はPoE ( Power over Ethernet )に対応しています。PoE給電対応ハブと接続することで、**電力の供給をネットワークハブから行えます**。ACアダプターの抜けによるトラブルを防止できるとともに、ACコンセントに余裕が無く、ACアダプターの使用が難しい場合でも、PoE給電にてご使用いただくことができます。
- 録音モードは、「コーデック：ADPCM/Mu-LAW/A-LAW/PCM」「サンプリング周波数：8kHz/24kHz」「ステレオ/モノラル(Rch/Lch/Mix)選択」を選べます。ステレオの録音は、音声認識や感情分析\*2などのデータとしても利用できます。

\*2：音声認識や感情分析システムが別途必要になります。

記録時間単位：H

| 記録時間            | データ形式 | ADPCM |        | Mu-LAW / A-LAW |        | PCM  |        |
|-----------------|-------|-------|--------|----------------|--------|------|--------|
|                 | 録音モード | Mono  | Stereo | Mono           | Stereo | Mono | Stereo |
| サンプリング周波数 8kHz  |       | 125   | 62     | 62             | 31     | 30   | 12     |
| サンプリング周波数 24kHz |       | 40    | 18     | 19             | 8      | 8    | 3      |

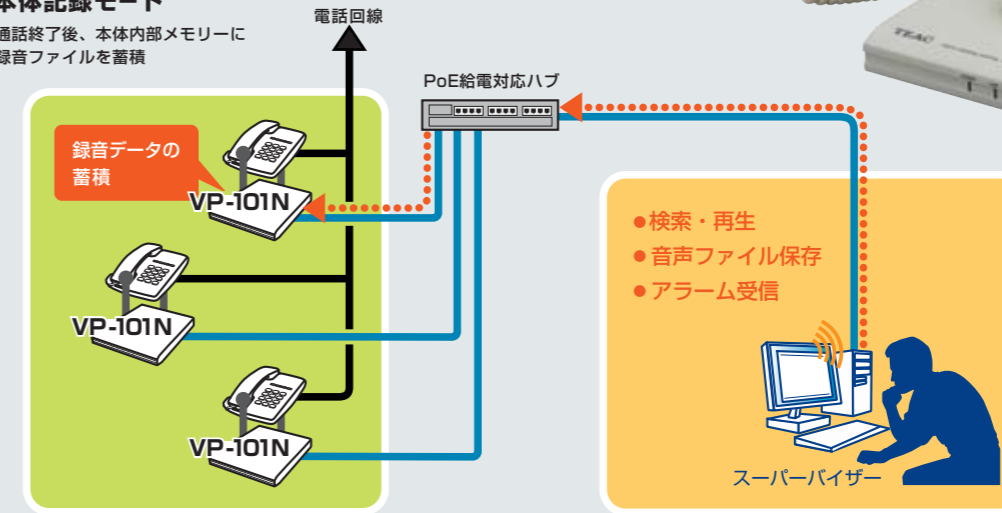
- **送話側・受話側の音量を別々に調節**できます。録音用ジャック ( REC OUT ) にヘッドホンを接続して、リアルタイムにモニターしながら素早い音量調節も可能です。
- 標準付属するソフトウェアを使って、データの検索・再生・PCへの保存が可能のため、**基本的な録音再生システムが、手軽に構築**できます。▶参照 [録音データの再生画面](#)
- 機器の録音状態や長時間通話アラーム等を、**ネットワークで接続されたPCで管理**できますので、それぞれの設置場所に管理者を置く必要が無く、**分散型の設置でありながら集中管理型のシステムを構築**でき、効率的な管理がおこなえます。
- 外部マイクの接続も可能で、**対面販売時の録音**にも対応しています。

## システム例

### 本体内部メモリーに記録する方式

#### 本体記録モード

通話終了後、本体内部メモリーに録音ファイルを蓄積

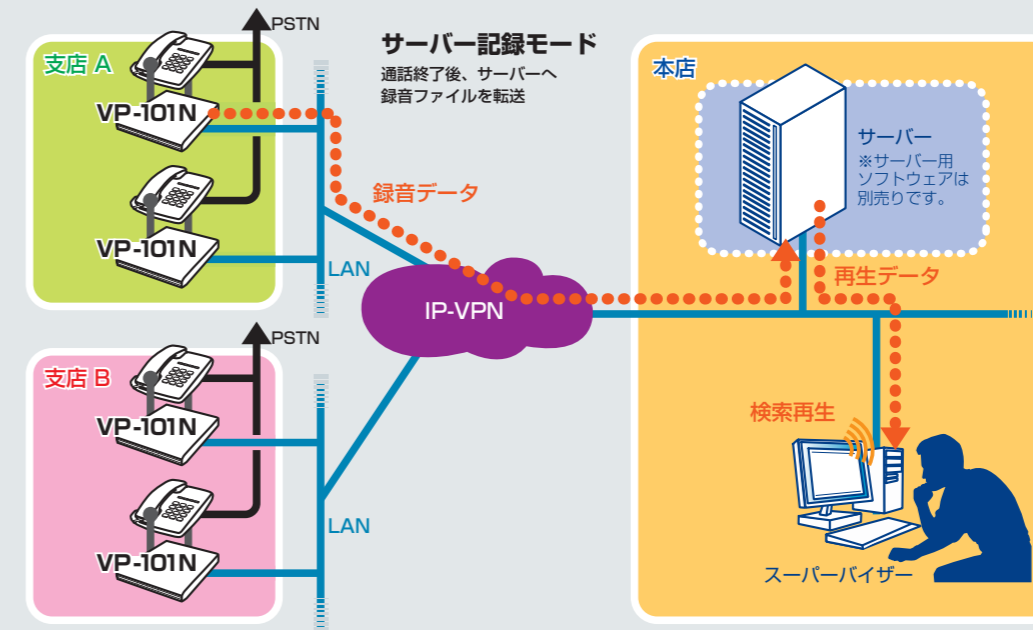


- どの回線種別にも使えます
- アナログ
  - INS
  - IP

### ネットワークを経由して管理サーバに記録する方式

#### サーバ記録モード

通話終了後、サーバへ録音ファイルを転送



## 録音データの再生画面

検索手順 3  
再生ボタンを押します。

検索手順 1  
検索項目を任意に選択します。

検索手順 2  
データを選択します。

対応OS：Windows XP SP2以降、Windows Vista、Windows 7

標準付属の通話再生用ソフト「VPプレーヤー」の一画面です。

通話単位の再生のほか、同じ通話の繰り返し再生や、自動的に次の通話を再生する連続再生ができます。

また、再生時のスピードを早く/遅くすることができます。

通話情報の管理、電話による取引のリスク管理やエージェントのトレーニングに。

受付窓口、商談スペースの対面接客の録音に。

